

Istanbul Weekly vol.7-no.27

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年8月10日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：** 優良党結党メンバー、相次いで辞任を表明。
トルコ、米国との関係修復に向け米国に代表団を派遣。
- 経済：** 7月の消費者物価指数、対前年同月比15.85%上昇、過去14年間で最高。
トルコリラ、対1米ドル6.46と過去最低値を更新。
ドンメズ・エネルギー天然資源相：トルコはイランからの天然ガス購入を継続。
- 治安：** イスタンブールでプロパガンダ活動をしていたISIL容疑者38名を拘束。
イスタンブールでブルガリアのマフィアグループ6名を逮捕。
- 軍事：** ジャンダルマにトルコ国産の武装ドローン6機を配備。
高等軍事評議会が開催。
- 社会：** 銀行の口座管理料が廃止へ。
プラスチック袋、2019年から有料に。

政治

【内政】

●CHPの一部党員、臨時党大会開催のため党本部に署名を提出

2日、6月の大統領選挙で大統領候補者だったインジェ氏を支持するCHPの一部党員は、大統領選挙での敗北を受け、新たな党首を選出するための臨時党大会開催のため集めた党代議員の署名を、CHP党本部に提出した。6日、CHP党本部は、提出された署名のうち569のみが有効であるとし（当館注：同党の党内規によれば、臨時党大会開催のためには署名622が必要。）、臨時党大会を開催しないことを発表した。（8月3日付けM紙15面及び8月7日付けM紙17面）

●優良党結党メンバー、相次いで辞任を表明

6日、優良党結党メンバーのハラチオール氏、イエニチェリ氏及びボル氏は、共同声明により辞任を表明した。同声明においては、6月総選挙の際に、同党の議員候補者リストに結党メンバーが加えられなかったことや、党の執行部が6月の大統領選挙で敗北したアクシェネル優良党首の再選を求めていることが辞任の理由であると述べられた。7日には、結党メンバーの一人であるエルユルマズ氏も同様に辞任したことが明らかになった。（8月7日付けM紙17面及びC紙インターネット版）

●デスティジ大統一党党首、死刑制度復活の法案に言及

8日、デスティジ大統一党党首は、国会での記者会見で、2002年に廃止された死刑制度を復活させる法案を国会に提出し、国会に議席を有する政党から支持を求める意向を明らかにした。また、デスティジ大統一党党首は、同法案に対して向けられた批判について、「私は個人の要求や意見に関心が無い。関心があるのは国民の要求と意見である。」と反発した。（8月

9日付けM紙16面）

●内務副大臣、官報に掲載

8日付けの官報によれば、内務副大臣に、エルソイ元家族・社会政策副大臣、インジェ元内務大臣補佐官、チャタクル元内務大臣副補佐官、エルディリ元内務大臣副補佐官が任命された。（8月9日付けM紙16面）

●今後の政治日程について

今後の政治日程について、当地各紙は次のとおり報じている。10日、エルドアン大統領が、大統領選挙の「お礼行脚」を最も得票率が高かったトルコ北東部バイブルト県から開始する予定。同日、AKP選挙調整センター（SKM）がアンカラ県で6月の大統領選挙・総選挙を協議するための合宿を実施する。12日、優良党は、党首選出のための第2回臨時党大会を開催する。18日には、AKPが「国民は一つ、目標は一つ」をテーマとした第6回臨時会合を早期開催する。（8月9日付けM紙16面他）

【外交】

●チャヴシュオール外相、ポンペオ米国務長官と米国の対トルコ制裁を協議

3日、チャヴシュオール外相は、シンガポールで開催されたASEAN関連外相会議のマーゲンで、ポンペオ米国務長官と会談した。会談では主に、米国の対トルコ制裁、両国のマンビジにおけるロード・マップなどが協議された。チャヴシュオール外相は、米国の対トルコ制裁について、「今後講じられる措置について審議した。対話により緊密な取組を行っていくという点で一致した。」と述べた。（8月4日付けM紙17面）



(写真は、8月4日付けM紙インターネット版から)

●トルコ、米国司法長官・内務長官に制裁

4日、エルドアン大統領は、FETOに関与した容疑によりトルコで拘束中の米国籍牧師を巡り、米国政府がギュル法相とソイル内相に制裁を適用したことを受け、米国司法長官と内務長官のトルコにおける資産を凍結すると発表した。一方で、「外交チャンネルは活発に動いている。近いうちに二国間における問題を解決できると考えている。」とも述べた。(8月5日付けC紙8面)

●トルコ、米国との関係修復に向け米国に代表団を派遣

9日、オナル副外相率いるトルコ代表団は、ワシントンで、米国の対トルコ制裁問題の解決に向け、米務省及び財務省関係者と会談した。会談では、主にトルコで拘束中の米国籍牧師の問題や米国のトルコに対する制裁などが協議されたが、何らの合意には至らなかった。会談後、ナウアート米務省報道官は、書面による声明で、「会談は続いていく。」と述べた。(8月9日付けM紙16面及び8月10日付けC紙5面)

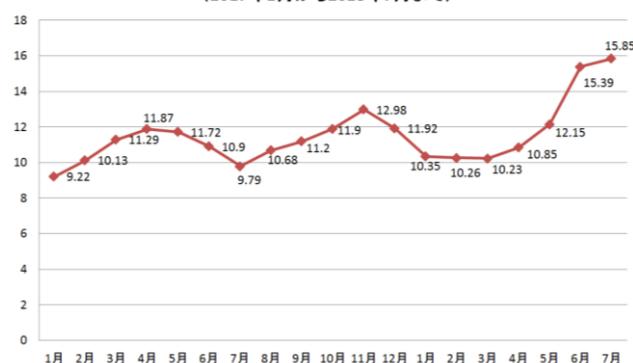
経済

【マクロ経済】

●7月の消費者物価指数対前年同月比 15.85%上昇、過去14年間で最高

3日のトルコ統計庁(TUIK)の発表によれば、7月の消費者物価指数(CPI)の上昇率は、対前年同月比 15.85%となり、過去14年間で最高値を記録。また、対前月比で最も高い上昇率を示したのは、レモン(12.86%)で、ラク(12.35%)、トマト(11.88%)がこれに続いた。(8月3日付けHT紙インターネット版他)

CPI上昇率(対前年同月比)の推移
(2017年1月から2018年7月まで)



(グラフは、当館作成)

●トルコ中央銀行、「2018年第3期インフレーション・レポート」を発表

トルコ中央銀行は7月31日に「2018年第3期インフレーション・レポート」を発表した。同レポートの中で、食料品のインフレ要因として、農業における計画性のない生産、物流の遅延による農産品の供給不足を要因とした価格上昇、過剰な仲介業者数等の構造的な問題が改善していないことを指摘した。(8月5日付けC紙インターネット版)

●エルドアン大統領、100日アクション・プランを発表

3日、エルドアン大統領は、エネルギー、貿易、教育、農業、観光分野を含む400件のプロジェクトからなる100日間のアクション・プランを発表。これらのプロジェクトの総額は460億トルコリラに達し、うち48件が防衛産業に関するプロジェクト。また、カナル・イスタンブール・プロジェクトについても、100日間で環境アセスメントを策定し、承認する予定である旨言及した。(8月4日付けD紙インターネット版)

●アルバイラク財務相:2019年までにインフレ率を1桁台にする

3日、アルバイラク財務相は、2019年までに、インフレ率と金利の両方を1桁台にする目標に言及。また、これを実現するため、前例のない成長重視の中期計画を9月上旬に発表することを明らかにした。(8月4日付けHDN紙インターネット版)

●7月の自動車販売台数、対前年同月比で36%減少

2日の自動車販売協会(ODD)の発表によれば、7月のトルコの自動車(軽トラックを含む。)販売台数は、対前年同月比36%減の42,024台となった。また、1月から6月までの売上も、対前年同期比16%減の4万6,082台となった。トルコリラの下落や金融コストの増加により、トルコの自動車マーケットの規模は、前年の第2四半期と比較して20.5%縮小している。(8月3日付けHDN紙10面)

【金融・為替】

●トルコリラ、対1米ドル6.46と過去最低値を更新

(1)米国籍のブルンソン牧師の拘束・逮捕に関連し、米国政府によるギュル法務大臣及びソイル内務大臣への制裁の発表や訪米したトルコの交渉団による協議が不発に終わったとのウォールストリートジャーナル紙の報道を受け、9日夜時点で、為替は1米ドル5.56トルコリラまで下落した。(8月9日付けC紙インターネット版他)

(2)10日朝、英フィナンシャル・タイムズ紙は、トルコリラ相場の大幅な下落に伴い、欧州中央銀行(ECB)が単一監督制度(SSM)の下、トルコへの貸し手となっているユーロ圏内の銀行への監視を数か月前から強めていること、また、トルコで活発に活動するBBVA銀行(スペイン)、UniCredit銀行(伊)、BNPパリバ銀行(仏)がリスクに晒される可能性があることを報道。これを受けて、トルコリラ相場は続落し、対1米ドル6.46トルコリラ、対1ユーロ7.20トルコリラと史上最安値を更新した。(8月10日付けBBCトルコインターネット版他)

●トルコ中央銀行、外貨準備率の上限を変更

6日夜、トルコ中銀は、急激なトルコリラの下落を受けて、外貨準備(当館注:中央銀行等が外国為替相場の安定のために行う為替介入の原資として保有する外貨)率の上限を45%から40%に引き下げ、約22億米ドルを為替市場に供給。しかしながら、対米ドルのトルコリラ相場の下落は止まらなかった。(8月7日付けC紙11面)

●エルドアン大統領:一定期間後に全てが整う

8日、エルドアン大統領は、トルコ産業・実業家協会(TUSIAD)及びトルコ独立産業者・実業家協会(MUSIAD)関係者の表敬を受けた。エルドアン大統領は、最近のトルコリラの下落等について、「一定期間後に全てが整う。市場は落ち着くだろう。恐れることはない。全ては過ぎ去るだろう。国民はこの問題の原因がどこから生じているのか気づいている。」と主張した。(8月9日付けM紙9面)

●IMF:トルコ政府から財務支援の要請なし

7日、IMFは、トルコ政府から財政支援の要請を受けていない旨を明らかにした。IMFは、4項目から成る2018年コンサルタ

ント・レポートを発表し、トルコ当局に対して、金融引締め政策等の必要性を訴えている。(8月9日付け HDN 紙 10 面)

●為替相場等の影響を受け、グラントバザールの貴金属店の一部が閉店

約 3,600 件の店舗を有するグラントバザールにおいて、直近 2 年間で、貴金属店 41 店舗が閉店し、それらの店舗跡地ではロクム屋が開業していることが明らかになった。また、現在も経営を続ける貴金属店の一部も、米ドル相場の上昇、金価格の高騰、外国通貨での賃料支払いのために、資産を切り崩している模様である。(8月5日付け SOZCU 紙 8 面)

【食料品】

●卵の価格が高騰

世界最大の卵の生産国の一つであるトルコにおいて、最近卵の販売価格の高騰が話題となっている。L サイズの卵の価格は、2018 年 1 月には 1 個当たり 25.5 クルシュであったのに対して、8 月には 40 クルシュまで高騰した。アフヨン卵生産者中央連合会会長は、観光客の増加、原材料の高騰、過去に損失を被った生産者が生産市場から退出したこと等を原因として挙げている。(8月7日付け H 紙 9 面)

【法令、政府人事】

●高等計画委員会の権限が大統領へ移行

2 日付け官報に掲載された大統領令により、高等計画委員会 (YPK) に付与されていた多くの権限が大統領に移行する。これにより、BOT 方式プロジェクトや保健分野における PPP プロジェクトにおいてこれまで YPK が有していた決定権限が大統領に移行することになる。(8月2日付け H 紙 10 面)

●財務副大臣及び保健副大臣の発表

3 日付け官報に掲載された大統領令により、財務副大臣にビュレント・アクス氏、保健副大臣にハリル・エルデミル氏及びシユアユップ・ピリンジ氏が着任。アクス財務副大臣は、大手通信会社テュルクセル社の財務副部長等を歴任。(8月3日付け AA 他)

【企業の動向】

●ヤマハ MT ツアー、トルコにやってくる

ヤマハ発動機が 4 年前に欧州で開始し、毎年 15 か国を周遊するヤマハ MT ツアーが、今月 11 日及び 12 日、イスタンブール・ビルギ大学において、また、16 日及び 17 日、イズミル・ムスタファ・ケマル・アタテュルク・スポーツ会場において開催される。(8月6日付け C 紙 10 面)



(写真は、8月6日付け C 紙インターネット版から)

●パナソニック、太陽光発電プロジェクトをイズミルで実現

パナソニックは、ユルサン投資ホールディング社の投資の下、イズミル県キラズ郡において、11.7MW の太陽光発電所の操業を開始。「サクラ太陽光発電所プロジェクト」として策定され、パナソニックの HIT 太陽光パネルを使用した発電所としては、世界最大規模となる。(8月6日付け D 紙インターネット版)

【エネルギー】

●イズミル県の石油精製所「STAR」に初となる原油が到着

3 日、アゼルバイジャン国営石油会社 (SOCAR) トルコ支社は、イズミル県に建設された石油精製所「STAR」に、アゼルバイジャンから初めて原油 8 万トンが到着した旨発表。63 億米ドルを投じて建設された同精製所は、本年第 4 四半期に稼働する予定。(8月7日付け HDN 紙 10 面)



(写真は、8月6日付け HDN 紙インターネット版から)

●ドンメズ・エネルギー天然資源相:トルコはイランからの天然ガス購入を継続

8 日、ドンメズ・エネルギー天然資源相は、米国が対イラン制裁の一部を発動した直後、トルコは現在のイランとの契約期限である 2026 年末まで同国から天然ガスの購入を継続する旨発言した。(8月9日付け HDN 紙 10 面)

●トルコ・ストリーム、2 本目のパイプラインの半分が敷設完了

7 日、ロシアの天然ガスをトルコ経由で欧州諸国に運送する天然ガスパイプラインプロジェクト「トルコ・ストリーム」について、黒海海底部分のパイプライン敷設を行うパイオニアリング・スピリット社は、総距離 930km の 2 本目のパイプラインのうち 435km の敷設を完了した旨明らかにした。1 本目については、4 月 30 日にクルクラレリ県クユキョイ (トルコ北西部) までの敷設が完了していた。(8月9日付け M 紙 9 面)

【観光】

●カッパドキア、カイセリ、共同プロモーションを実施

2 日、バユンドウル・トルコホテル業界連盟会長 (TUROB) は、トルコは高水準のサービスを求める外国人観光客の誘致のため、新たな観光パッケージを開発する必要があるとし、朝にカッパドキアの気球に乗り、午後にカイセリのエルジェス山でスキーを楽しむようなツアーを外国人観光客に提供すると発言。(8月3日付け HDN 紙 10 面)



(写真は、8月3日付け HDN 紙インターネット版から)

●国内観光消費、第 1 四半期は対前年同期比 24.9%増加

トルコ統計庁 (TUIK) の発表によれば、2018 年第 1 四半期のトルコ国内観光消費は、対前年同月比で 24.9%増加し、63 億トルコリラ (16.5 億米ドル) となった。消費の内訳は、94.2%が個人旅行、5.8%が団体旅行であった。(8月7日付け HDN 紙 10 面)

●欧州からの観光客、トルコリラ相場下落によりトルコへ

ロシア、英国及びドイツからトルコを訪問する観光客数が増加している。英国最大の観光会社であるトーマス・クック社は、2018 年におけるトルコへの観光予約は、対前年比で 63%増加し、著名な観光スポットであるスペインのマヨルカ島への予約

数を越えたことを明らかにした。この背景には、トルコリラ相場
の下落があると指摘されている。(8月9日付けH紙11面)

●Booking.comに類似したサイト約20社への裁判

不当競争や税未払いを理由に、昨年トルコ国内での営業一時
差止め処分を受けた Booking.com に次いで、トルコ旅行者
協会(TURSAB)は、Booking.com に類似したサイトを運営して
いる会社に法的手続きをとる決定を下した。Airbnb、agoda、
skyscanner、expediaを始めとした約20サイトが対象に含まれて
いる。(8月9日付けH紙11面)

【社会保障】

●退職者への犠牲祭日に係る新賞与の支払いは8月16 日及び17日に

セルチュク労働社会サービス家族相は、退職者に対する犠牲
祭日の新ボーナス支払日について、一般社会保険組合
(SSK)及び自営業者保険組合(Bag-Kur)加入者に対しては8
月16日、年金基金加入者に対しては8月17日と発表した。
退職者に対するラマダン祝日及び犠牲祭日のボーナスの
新たな支払いは、6月24日の総選挙におけるAKPの選挙公
約となっていた。(8月8日付けHT紙インターネット版)

治安

【ISIL 関係】

●イスタンブールでプロパガンダ活動をしていた ISIL 容疑者 38名を拘束

3日、警察は、イスタンブール市内12箇所においてテロ対策オ
ペレーションを実施し、ISILの外国人容疑者38名を拘束すると
ともに、ISILのプロパガンダに関する大量のデジタル資料等を
押収した。(8月3日付けS紙インターネット版)



(写真は、8月3日付けHDNインターネット版から)

●イスタンブール及びコジャエリで ISIL 容疑者 15 名を拘束

7日、治安機関は、イスタンブール及びコジャエリにおいて ISIL
容疑者 15 名を拘束し、エアライフルと組織関連文書を押収
した。(8月7日付けHDNインターネット版)



(写真は、8月7日付けHDNインターネット版から)

【PKK 関係】

●イスタンブール及びディヤルバクルで PKK 容疑者 8 名を拘 束

7月31日、警察は、イスタンブールにおいて、テロ対策オペ
レーションを実施し、PKK容疑者3名を拘束した。同オペレーシ
ョンに関連し、8月4日、イスタンブール及びディヤルバクルで

PKKのリクルートとロジ活動を行っていたと見られる容疑者5
名が摘発された。(8月4日付けHDNインターネット版)



(写真は、8月4日付けHDNインターネット版から)

●ドイツの親 PKK グループがエルドアン大統領の訪独に際し て大規模デモを計画

ドイツのメディアによれば、9月に予定されているエルドアン大
統領のドイツ訪問に際して、ドイツの親 PKK グループが1万人
から2万人規模のデモを計画しており、PKKのテログループ・
リストからの除外及びトルコで拘束されている PKK 政治犯の
釈放、シリアのYPGに対する攻撃の中止を求める予定。ドイツ
の情報機関は、ドイツ国内に約1万4,500名のPKK支持者が
いると見ている。(8月3日付けS紙インターネット版)

【その他】

●イスタンブールでブルガリアのマフィアグループ6名を逮捕

4日、警察は、イスタンブール市バクルキョイ区のホテルにお
いて、ブルガリア当局がインターポールを通じて指名手配して
いた同国マフィアグループのリーダーを含む構成員6名を逮
捕した。(8月4日付けHDNインターネット版)



(写真は、7月4日付けHDNインターネット版から)

●ブルサ県で物乞いの女性が観光客に暴行

4日、ブルサ県において、物乞いの女性が、自身の夫を見てい
たとして観光客の女性に逆上し、暴行を加え、現場から逃走し
た。被害者が警察に通報し、捜査が開始されている。(8月4
日付けHDNインターネット版)

●内務省発表:1月から現在までに薬物容疑者11万7,267名 を拘束

5日、内務省は、1月から現在までに、ヘロイン10トン、マリフ
アナ45トン、コカイン251キロ、アヘン148キロ、合成麻薬521
キロ、覚醒剤289キロ、大麻草550万株を押収し、薬物容疑者
11万7,267名を拘束したと発表した。(8月4日付けHDNイン
ターネット版)



(写真は、7月4日付けHDNインターネット版から)

軍事

●ジャンダルマにトルコ国産の武装ドローン 6 機を配備

3 日、トルコ国産の武装ドローン 6 機がコントロールステーション 3 基と共にジャンダルマに配備された。同ドローンは、24 時間以上の飛行と 150 キロの貨物輸送が可能であり、テロ対策に運用される。(8 月 3 日付け S 紙インターネット版)

●高等軍事評議会が開催。

2 日、エルドアン大統領主催の高等軍事評議会(YAS)が開かれ、アドナン・オズバル海軍中将が海軍大将に、イスマイル・メティン・テメル陸軍第 2 軍中将が同軍大将にそれぞれ昇任した。また、41 名が新たに将官に昇任し、将官の数は 244 名になった。(8 月 2 日付け HDN インターネット版)



(写真は、7 月 2 日付け HDN インターネット版から)

社会

●ベッコウハゴロモがイスタンブールを侵略

茶・ヘーゼルナッツなどに深刻な害を与えるベッコウハゴロモが、イスタンブールに拡散し始めている。ベッコウハゴロモは、日本、中国、韓国から植物を通じてトルコに渡ってきたと想定されており、黒海東部地域にて確認されていたが、最近イスタンブールでも確認された。植物の樹液を吸うことから、トルコでは「吸血鬼蝶」として知られ、重要農産物への深刻な被害が予測されることから早期対処の重要性が強調されている。

(8 月 3 日付け H 紙 6 面)



(写真は、8 月 3 日付け H 紙インターネット版から)

●シリア船が 6 年ぶりにボスポラス海峡を通過

3 日、シリアからコジャエリ県ヘレケ港に到着したシリア国籍の貨物船 Souria は、荷物を積んだ後、ボスポラス海峡を通過しロシアへと向かった。シリア国籍船がボスポラス海峡を通過するのは、2012 年以来である。(8 月 5 日付け H 紙インターネット版)

●トロイ観光ルートを設定

2018 年が「トロイの年」に制定されたのを受け、チャナッカレ歴史観光財団及びチャナッカレ県庁は、トロイに新たに観光ルートを設定した。全長 120km のルートはトロイ博物館から出発し、アソスアンティーク港にて終着。途中、遺跡都市、古墳、25 の村を通過する。文化観光省、国連開発計画(UNDP)及びアナドルエフェスが「未来の観光プロジェクト」の一環として支援している。(8 月 6 日付け H 紙)

●密輸組織から多数の歴史的出土品を押収

6 日、イスタンブール警察は、盗難に遭っていた 237 点の歴史的出土品を押収し、関係者 5 名を逮捕した。密輸対策チームは、トルコ各地の違法発掘現場から出土品の密輸を行うグル

ープの、イスタンブールの拠点数箇所を突き止め、強制捜査した。押収された出土品には、2,000 年前のローマ人グラディエーターの青銅ヘルメット、マムルーク朝時代の象眼細工の大釜、ギリシャ及びローマ時代の金貨など多数の歴史的価値のある出土品が含まれていた。出土品はイスタンブール考古学博物館、トルコイスラム美術博物館、トプカプ宮殿博物館へ引き渡される。(8 月 7 日付け HDN 紙)



(写真は、8 月 6 日付け HDN 紙インターネット版から)

●ブーコレオン宮殿が野外博物館へ

イスタンブール市は、チャトラウドゥカプ地区にありユネスコ世界遺産にも指定されている築 1610 年のブーコレオン宮殿の改修作業を行う。文化自然遺産委員会へ提出されたプロジェクトには、鉄枠の撤去、大理石の研磨などの修復作業のほか、木製の遊歩道、博物館、プールなどの設置が盛り込まれている。(8 月 7 日付け HDN 紙)



(写真は、8 月 7 日付け HDN 紙インターネット版から)

●銀行の口座管理料が廃止へ

2014 年 10 月に制定された金融消費者からの徴収料金に関する規則が、消費者保護法に矛盾することを理由に、行政最高裁判所の 2018 年 2 月の決議により廃止されることが決定した。消費者は、既に徴収された口座管理料の返金申請をすることが可能。返金されない場合には、支払ったことを証明する書類(支払い明細、口座明細など)を消費者仲裁センターへの申請書と共に、消費者苦情ウェブサイトを通して申請することもできる。(2018 年の上限額は 6,860 トルコリラ)。(8 月 4 日付け H 紙インターネット版)

●黒海沿岸オルドゥ県にて洪水発生

8 日早朝、黒海沿岸のオルドゥ県を流れるジェビズデレ川が氾濫し、洪水及び土砂崩れが発生した。現地では 7 つの橋が崩壊し、黒海沿道は閉鎖状態にある。同県内 7 市の 50 万人が影響を受け、数百人が屋内や車内から救出された。また、今回の洪水により重要農作物であるヘーゼルナッツ 30 トンが被害を受けた。10 日現在の被害状況は、負傷者 7 人、死者 1 名、家屋 66 件、264 店舗、60 車両である。(8 月 10 日付け H 紙)

●プラスチック袋、2019 年から有料に

環境都市省の規制により、2019 年 1 月 1 日以降、プラスチック製の買い物袋は、全販売所で有料となる。プラスチック袋の有料化は、環境汚染の防止や不必要なプラスチック製品の抑制を目的としている。(8 月 8 日付け M 紙 7 面)

●増加する予防接種拒否

子供に予防接種を受けさせない例が、2017 年では 2 万 3,000 件と、2016 年の 1 万 1,000 件からさらなる増加を見せた。予防

接種に関する誤った知識が理由で接種を拒否する家族もいることを懸念した保健省は、専用ウェブサイト (<https://asi.saglik.gov.tr/>) を開設し、正しい知識の普及に努めるとともに、予防接種を受けないことにより、年間 1 万 4,296 人が死に至る可能性があることも明らかにした。専門家は予防接種の義務化を呼びかけている。乳児に適用される予防接種は、百日咳、ジフテリア、破傷風、風疹、麻疹、おたふく風邪、結核、ポリオ、小児麻痺、A 型肝炎、B 型肝炎、水痘、ヘモフィルスインフルエンザ B 型感染症、肺炎で、保健機関にて無料で接種可能。(8 月 9 日付け HDN 紙)

●バトマン県のアルトゥクル・ハمامが移転

バトマン県ハサンケイフ市にある築 540 年のアルトゥクル・ハمامの移転作業が完了した。移転は、ウルス・ダム建設により同地点の歴史的遺産が水底に沈むことから保護するために実施された。重さ 1500 トンの歴史的なハمامは、2.95 メートルの道のりを 7 時間 15 分で移動した。移動には 256 の車輪付き特殊台車を使用され、移転作業費用は 3,700 万トルコリラであった。年末までにさらに 6 つの歴史的建造物が同地点から移転予定である。(8 月 7 日付け H 紙)



(写真は、8 月 7 日付け H 紙インターネット版から)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TİKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBİTAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSİAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSİAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Habertürk
D	Dünya	İA	İhlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.8.9 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	8件	0件	2件	0件	12件	0件	3件